

◆現場教員による竜巻防災教育プログラムによる実践（栃木県鹿沼市）

○ステップ1・・・「事前学習1」 竜巻がなぜ怖いのか、その正体を知ろう 【小学・45分/中学・50分】

【指導案】ステップ1_事前学習1_指導案
【授業】1時限を使った教員による防災授業

【ワークシート】ステップ1_事前学習_ワークシート「竜巻の正体を知ろう！」
【授業形式】全体学習→グループワーク(推奨)→代表者の発表→まとめ

○ステップ2・・・「事前学習2」 竜巻から自分の身を守る方法を考えよう 【小学・45分/中学・50分】

【指導案】ステップ2_事前学習2_指導案
【授業】1時限を使った教員による防災授業

【ワークシート】ステップ2_事前学習2_ワークシート「竜巻から自分の身を守ろう！」
【授業形式】全体学習→グループワーク→代表者の発表→まとめ



小学校



保護者参観



中学校



【授業実践例】担任の先生が竜巻防災教育プログラムを使用して授業を行った。小学校では、発達段階に応じて自校化した内容で授業が実践できた。プログラムの実践前・後に行った児童生徒へのアンケートによって、授業による学習効果の向上が確認できた。

○ステップ3・・・「実践訓練・事後学習」 実際に身を守って、自分の行動を振り返ろう

【指導案】実践訓練・事後学習_指導案(45分)

【ワークシート】ステップ3_実践訓練・事後学習_ワークシート「訓練をふりかえろう！」



小学校



先生は指示を出さない



中学校

【訓練実践例】休み時間に竜巻接近の緊急放送により、その場で適切な対応行動を行う訓練を実践した。抜打ち訓練の活用により、主体的な思考力がより身に付き、条件反射的に行動できる能力の向上が確認できた。教員も身を守る行動をとる。

【授業実践例】対応行動訓練での自分の行動について、ワークシートを使って振り返る(訓練の自己評価)。自己評価後、自分のとった行動を発表し合って、様々な場所での適切な行動について理解を深めた。